

海藻標本の作り方

写真1のように淡水を入れた容器のなかで塩分を抜き(10~30分)、目的の海藻を選別し、ハサミ・ピンセットなどを利用して、おおまかな形を整える

写真2のように、先ほどの海藻をケント紙の上のせ、水の中に入れて形を整える

このとき、厚手の下敷きなどをケント紙の下にバットの縁にかけて斜めに入れ、順次海藻を整えながらケント紙を引き上げて行くのがコツである、引き上げたケント紙はもし可能なら、斜めにできる状態(水切り用の網ソウキやスノコなど)でしばらく水を切る(写真3)

40×45cmくらいのベニヤ板(厚さ3mm程度)を2枚準備し、その1枚を下に敷く

全紙一枚分の新聞紙を2つ折(約30×40cm)にし、ベニヤ板の上に置く

で準備した海藻を乗せたケント紙を新聞紙の上に置く

別途準備した、さらし布(約36×40cm)をその上に被せる(写真4)

2つ折り新聞紙を乗せる

以後 ~ をくり返し、最後にもう1枚のベニヤ板を乗せ、必要に応じて重しを乗せるが、あまり重いものはかえって仕上がりが悪いので、風で飛ばない程度に薄手の本を一冊乗せる位でよい(写真5)

作製直後は日に3~5回、間の新聞紙を新しいものに交換する、新聞は干しておけば使いまわしできる

交換の方法は上にあるベニヤ板を隣に置き、最初一番上部の新聞紙を新しいものに交換し、"乾燥新聞紙+その下のさらし布+海藻付きケント紙+(湿った新聞紙)"を両手に挟み(写真6)、上下逆さまにして先ほどのベニヤ板の上に置くその後、上になった"湿った新聞紙"を取り除き、以下は次の標本上に"乾燥新聞紙"を乗せて、上記の作業を繰り返す、最後に残りのベニヤ板を乗せ、全体を上下逆転させて終了(写真7)

2日後くらいからは1回/日に新聞紙を取り替え、海藻によるが1、2週間で完成する、時々、注意しながらさらし布をはぐり出来具合を見る(写真8)

よく乾いたらさらし布を取り除き、クリアシートなどを利用して、種々の方法で保存する

ケント紙に付着しない海藻がある場合は、透明スプレーニスで粘着固定するのも良いが、紙絆創膏を利用し藻体の一部などを貼り付けておくのが標本を劣化させないので良い



写真1



写真2



写真3



写真4



写真5



写真6



写真7

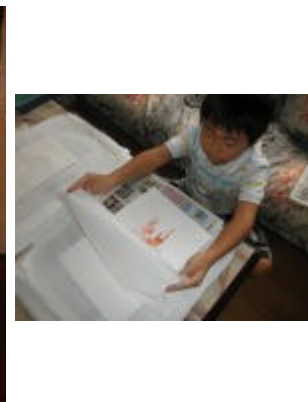


写真8